

水に強く、さわやかで、エコ。 和紙の可能性を追求しています。

美濃市の市街地を歩くと、和紙にちなんだお店をあちこちに見つけられます。明治9年創業の「松久永助紙店」は、雰囲気のある店構えに思わず立ち寄りたくなる美濃和紙の老舗。伝統に甘んじることなく、和紙製のタオルや靴下、カバン、足袋や雪駄など、新たな商品開発に取り組んでいらっしゃいました。



エコツー

エコムつうしん 50号 -1月号-



アポなしだったにもかかわらず、親切に対応してくれたのは、営業担当の松久恭子さん。老舗和紙店の娘さんです。



水に強く衣料に適した紙の糸が開発され、和紙の可能性が大きく広がった。



和紙のタオルは、美濃和紙と今治タオルとのブランドコラボレーションによって生まれた商品。独特の風合いがあり、乾きが速いのは和紙ならでは。



和紙の靴下も売られていた。麻糸のような清涼感があり、履き心地がさわやかだとのこと。

和紙糸の特長

- ◎麻糸と同様な清涼感がある
- ◎非常に軽い(比重は麻糸の1/3)
- ◎吸放湿に優れ、快適な着用感
- ◎通気性に優れている
- ◎エコ素材

和紙糸の原料になるマニラ麻は極めて成長が早く、2~3年で生育し、使用後も土の中の微生物により炭酸ガスと水に分解されます。「自然から作られ、自然に戻り、再利用できる」まさに循環型の素材です。

株式会社松久永助紙店 〒501-3728 岐阜県美濃市本住町 1929
電話 0575-33-0007



醸造文化

- ここが知りたい！エコムちゃん
「盛田味の館」
- うれしいエコ！みつけた「和紙タオル」

「エコツー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。

----- エコツーは、広く皆さまに親しまれる冊子をめざし、リニューアルしました。-----



発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3
TEL 0584-68-2033 (代)
制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

平成28年1月発行

※表紙のイラストは一部廃材を使用しています。今月は「廃たみ」です。

《再生紙を使用》

ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

醸造文化

比較的温暖な気候の知多半島。

太平洋へと突き出ているその地形から独特な文化が育ち、
浜辺の風景はちょっとトロピカルな感じがするね。

この半島では、お酒造りが盛んだよ。18・19世紀には、
半田・亀崎を中心に海運という地の利を生かした江戸市場向けの酒蔵が
いくつも生まれ、最盛期には200蔵以上の酒蔵があったというよ。

酒造りだけではなく、その時代から現代にいたるまで
味噌、たまり、醤油、みりん、
酢などの醸造品が造られてきたんだ。
これらの製品が地元での消費だけではなく、
全国をターゲットとして生産されているところが、すごいよね。

知多半島の品々がシェアを獲得できた理由は、
その品質の高さ。

雑菌が繁殖しにくい寒い時期に酒の仕込みを行う寒造りや、
十分発酵させて味わいのある酒を造る段仕込みなど、
上方の進んだ製法を取り入れてきた。

醸造は、じっくりと時間をかけて醸し出す営み。
この本物を造り続ける姿勢が、
持続可能な文化を生んでいるんだね。

The brewing



ものづくり半島

知多半島のものづくりは、酒造を中心とした醸造業だけではありません。江戸時代の物資輸送の主たる手段は海でつながる廻船でした。海は全国へとつながっていて、その利を活かした製造業が方々で生まれています。

- ◎焼き物(常滑)
- ◎木綿(知多)
- ◎ビール(半田)
- ◎トマトソース(東海)
- ◎瓦(高浜)
- ◎えびせんべい(美浜)



盛田味の館

盛田株式会社は江戸時代からずっとお酒や味噌、しょうゆなどの醸造品を創り続けている会社。はじまりは1665年(寛文5年)で、350年以上の歴史を有しているんだ。ゆかりの展示物や工場の見学ができる施設「盛田味の館」を見学してきたよ。



味噌煮込みうどん
美味しいよ!



館長の石井誠さんに館内をご案内いただいたよ。築170年の醸造蔵を改造した建物には、杉櫓が並べられ、酒蔵の雰囲気に浸れたよ。



館内では、銘酒「ねのひ」の利き酒や、田楽・味噌煮込みうどんなど、味噌で作った料理も食べられるよ。



15名以上の団体さまの工場見学を受け付けているそうだよ。その日も、地元の小学生が学びに来ていたよ。



15代目当主盛田昭夫は、醸造の道から転身し「世界のソニー」を創業した人物。その軌跡をたどる展示もあったよ。

鈴溪義塾(れいけいぎじゅく)

盛田家は、文明開化に揺れ動く明治期、当地に私塾を開塾。高度なカリキュラムを展開し、トヨタの中興の祖・石田退三や敷島パン創業者・盛田善平をはじめ、たくさんの方を輩出しています。あまり知られていないことですが、驚くべき事実です。



ご案内

愛知県常滑市小鈴谷字脇浜10番地
(電話)0569-37-0733

開館時間：10:00～16:00

休館日：毎週水曜日・お盆・年末年始
入場料無料/駐車場有り(無料)

